

デジタルトランスポート for iPod/iPhone AT-DL3i

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、いつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

この取扱説明書には、専用のリモコンユニットAT-DL3iRの内容も含まれております。リモコンユニットは、別売となっておりますので、別途お買い求めください。

***以下に記載されているリモコンユニット(リモコン・リモコン受光ケーブル)は別売です。**

- iPod/iPhoneの音声を高品位にデジタル出力しカーオーディオ機器に接続
- コンパクトなボディにデジタル音声出力2系統/デジタル音声入力1系統を装備
- iPod/iPhone未接続時は外部入力機器に自動切り換え
- 設置に便利な2m長のiPod/iPhone専用ケーブルを付属
- iPod/iPhoneに収めた映像を車載モニターに出力可能
- 1A充電仕様を採用し、iPod/iPhoneの短時間充電を実現
- iPhone着信時[※]は音声をフェードアウトし一時停止
- 別売のリモコンユニットAT-DL3iRを接続すれば、iPod/iPhoneの操作がよりスムーズに

[※] 車載スピーカーから着信音は出力しますが、通話音は出力しません。
通話は車を停めてiPhone本体で行なってください。

 保証書 持込修理
型式 AT-DL3i
ご購入年月日 年 月 日
保証期間 ご購入日より 1年
フリガナ ご氏名
ご住所 〒 ()
販売店

転載不可

●裏の保証規定を必ずお読みください。
株式会社 オーディオテクニカ
〒194-8666 東京都町田市成瀬2206 <http://www.audio-technica.co.jp>
お問い合わせ先 (電話/平日9:00~17:30)
製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。
●相談窓口(製品の仕様・使いかた) ☎ 0120-773-417
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0211)
FAX: 042-739-9120 Eメール: support@audio-technica.co.jp
●サービスセンター(修理・部品) ☎ 0120-887-416
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)
FAX: 042-739-9120 Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp
●ホームページ(サポート) www.audio-technica.co.jp/atj/support/

安全上の注意

本製品は安全性には充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

- 危険** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
- 警告** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
- 注意** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

- 警告**
 - DC12Vマイナスアース車専用、24V車で使用しない
故障や火災の原因になります。
 - 取り付ける前に必ず以下の確認を行なう
 - シフトレバーをパーキング(P)ポジションにする。
 - パーキングブレーキを確実にかける。
 - エンジンキーを抜く。
 - 配線作業の前に必ずバッテリーのマイナス端子とプラス端子のコードを外す
ショートによる感電や火災の原因になります。
 - ステアリング系統、ブレーキ系統、燃料タンクなどの保安部品に使用しているボルトやナットは絶対に使用しない
火災や事故などの原因となります。
 - ヒューズは規定容量(アンペア数)以外のヒューズを使用しない
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
 - バッテリーに直接接続しない
電源コードをバッテリーに直接接続しないでください。感電、火災などの事故、故障の原因となります。
 - 電源コードに、ほかの機器の電源を接続しない
電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取るとは絶対にしないでください。電源コードの電流容量をオーバーし、火災などの事故や、感電の原因となります。
 - エアバッグの動作の妨げにならない場所に取り付ける
エアバッグが正常に動作しないなどの事故の原因になります。
 - 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線を傷付けない
交通事故や火災の原因になります。
 - 分解や改造はしない
感電、事故や火災の原因になります。
 - 布などでおおわない
火災や事故の原因になります。
- 本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない
感電、故障や火災の原因になります。
- 前方の視界や運転の妨げになる場所には取り付けない
前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなど運転操作の妨げになる場所、運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けないでください。保安基準に基づいて取り付けないと、交通事故やけがの原因となります。
- 雷が鳴りだしたら本体や接続ケーブルに触れない
雷が鳴りだしたら、本体や接続ケーブル、接続されている機器に触れないでください。落雷により感電の危険性があります。
- 車両の電装品が正常に動作することを確認する
取り付けや配線の終了後、ブレーキ、ライト、ホーン、ハザードやウィンカーなど電装品が正常に動作することを確認してください。正常に動作しない状態で使用すると火災などの事故や、感電の原因となります。
- 故障や異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない
音が出ない、画面が映らないなどの故障した状態で使用しないでください。また、異常が起きた場合、すぐに電源を切り、お買い上げの販売店が当社サービスセンターに相談ください。そのまま使用すると、事故や火災などの原因になります。
- 走行中は本製品および本製品と接続している周辺機器を操作しない
操作やビデオ鑑賞を行なうときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。交通事故の原因になります。

注意

- 車載用途以外で使用しない
感電やけがの原因になります。
- 取り付け・配線は専門技術のある販売店に依頼する
安全のため、お買い上げの販売店に依頼してください。誤った取り付け・配線を行なうと、事故の原因になります。
- 以下の場所には取り付けない
 - 車外
 - エンジンやマフラーの配管付近
 - 直射日光の当たる場所
 - ヒーターの熱風が直接当たる場所
 - 雨や水のかかる場所
 - 振動の多い場所
 - 固定できない不安定な場所
- 濡れた手で触れない
感電やけがの原因になります。
- 接続・取り付け作業は必ずエンジンの冷めている状態のときに行なう
接続・取り付け作業は必ずエンジンの冷めている状態のときに行なってください。やけどなどけがの原因となります。
- エアバッグの注意事項を車両メーカーに確認する
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行なってください。エアバッグが誤作動する原因になることがあります。
- 高温部を避けて配線する
コード類の配線は、高温部を避けて行なってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし火災や感電の原因となることがあります。

注意

- 車両の動く部分にコード類を挟み込まない
車体やネジ部分、シートレールなど、車両の可動部分にコード類を挟み込まないように配線してください。断線やショートにより、事故・感電・火災の原因となることがあります。
- コード類が金属部と接触する場合は保護テープを巻く
コード類が車両の金属部に接触しないように配線してください。どうしてもコード類が車両の金属部と接触する場合は、必ず接触部分に保護テープを巻き、コード類の被覆を保護してください。保護しないと火災や感電の原因となります。

リモコンユニット(別売)について

***以下に記載されているリモコンユニット(リモコン、リモコン受光ケーブル)は別売です。**

- 警告**
 - リモコン、リモコン受光ケーブルは幼児の手の届く場所に置かない
事故の原因になります。

注意

- リモコンを放置しない
リモコンを放置しないでください。停車したときやカーブを曲がるときに、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと、運転の妨げとなり交通事故の原因となります。操作をするとき以外は固定しておいてください。
- リモコン受光ケーブルの赤外線受光部は直射日光の当たる場所を避けて設置する
直射日光が当たった状態では、リモコンの受光が正確にできない場合があります。
- リモコンは直射日光の当たる場所を避けて保管する
リモコンは直射日光の当たる場所や高温、高湿の場所を避けて保管してください。ケースの変形、電池の破裂、液漏れの原因となることがあります。

リモコン(別売)の電池について

指定電池	コイン形リチウム電池CR2025
------	------------------

危険

- 電池の液が目に入ったときは目をこすらない
すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、医師の診察を受けてください。

警告

- 幼児の手の届く所に置かない
電池を飲み込んだ場合はすぐに医師の診察を受けてください。窒息や内臓への障害の恐れがあります。
- 火の中に入れてない、加熱、分解、改造しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 極性通りに入れる
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- リチウム電池は充電しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 硬貨やカギなど金属製のものと一緒の場所に置いたり、電池の+と-を接続しない
ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 液漏れした電池はすぐに取り出し、液は素手でさわらない
・幼児がなめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。
- 使い切った電池はすぐに取り出す
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 長期間使用しない場合は電池を取り出す
液漏れによる故障の原因になります。

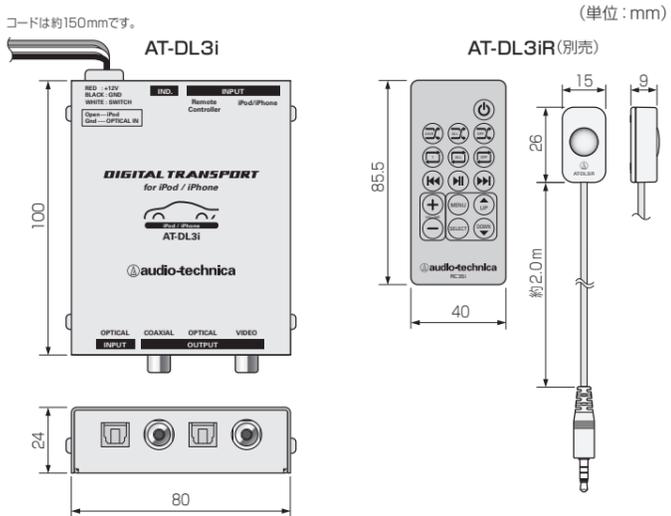
注意

- 落下させたり強い衝撃を与えない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 変形させたりハンダ付けしない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 以下の場所で使用、放置、保管しない
・直射日光の当たる場所、高温多湿の場所・炎天下の車内
- 液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。
- 水に濡らさない
発熱の原因になります。
- 保管、廃棄の場合はテープなどで絶縁する
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 指定の電池以外使用しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する
環境保全に配慮してください。

使用上の注意

- ご使用の際は、iPod/iPhoneや各入出力に接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 接続するiPod/iPhoneのソフトウェアのバージョンが最新であることをご確認ください。最新でない場合は、本製品が正常に動作しない場合があります。
- 接続するiPod/iPhoneの機種によっては「各部の名称と機能」に記載の動作機能が対応していません。詳細は「iPod/iPhone動作制限事項」をご確認ください。
- 接続する際は、iPod/iPhoneや各入出力に接続する機器の音量を最小にしてから接続してください。
- 本製品にiPhoneを接続して使用する場合、iPhone着信時に車載スピーカーから着信音は出力しますが、通話音は出力しません。

外形寸法図



テクニカルデータ

■デジタルトランスポート AT-DL3i	
入力端子	： 角形光デジタル×1 iPod/iPhone 接続端子×1 リモコンユニット接続端子×1
出力端子	： 角形光デジタル×1 同軸デジタル×1 コンポジットビデオ(75Ω)×1
対応サンプリング周波数	： 32kHz、44.1kHz、48kHz
対応フォーマット	： WAV フォーマット、Apple ロスレスフォーマット AAC フォーマット、MP3 フォーマット、AIFFフォーマット
電源	： DC12V(9~16V)マイナスアース
最大消費電流	： 1A
外形寸法(突起部除く)	： H24×W80×D100mm
質量(本体のみ)	： 約270g
付属品	： iPod/iPhone 接続ケーブル(約2.0m)

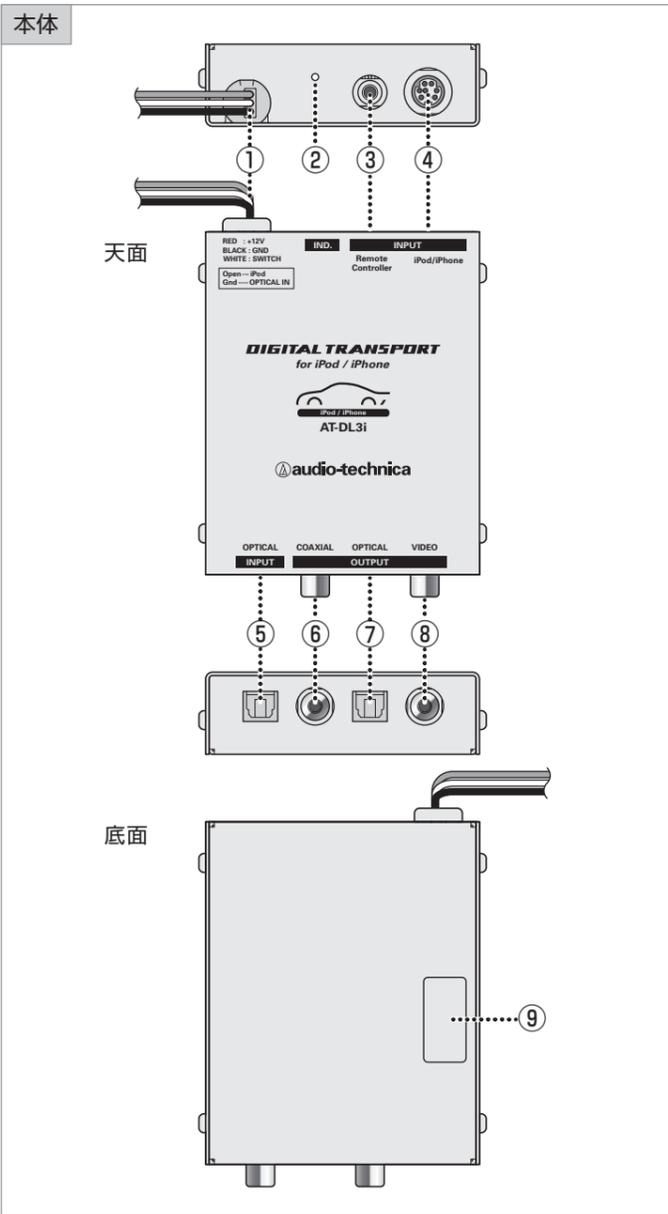
- リモコンユニット AT-DL3iR(別売)
内容物 : リモコン*、リモコン受光ケーブル
リモコン受光ケーブル長 : 約2.0m
^{*}リモコンには動作確認用のコイン形リチウム電池(CR2025)が入っています。

アフターサービスについて
本製品を車載用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先(電話受付/平日9:00~17:30)
製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。
●相談窓口(製品の仕様・使いかた) ☎ 0120-773-417
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0211)
FAX: 042-739-9120 Eメール: support@audio-technica.co.jp
●サービスセンター(修理・部品) ☎ 0120-887-416
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)
FAX: 042-739-9120 Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp
●ホームページ(サポート) www.audio-technica.co.jp/atj/support/

株式会社 オーディオテクニカ
〒194-8666 東京都町田市成瀬2206
<http://www.audio-technica.co.jp>

各部の名称と機能



① 電源/アース/入力切換コード

赤 : 電源コードDC12V(9~16V)
 黒 : アースコード
 白 : 外部入力切換コード

② インジケータ

動作状況を表示します。インジケータは緑色です。
接続作業動作中 : ゆっくり点滅
 ※接続作業が続く場合は、iPod/iPhoneを取り外し、iPod/iPhoneの「リセット」を行ない、再接続してください。
 iPod/iPhoneの「リセット」は、お手持ちのiPod/iPhoneの取扱説明書をご参照ください。
接続完了 : 点灯
接続エラー : 早い点滅
 ※接続エラーの場合は、iPod/iPhoneを本製品から取り外し再度接続してください。

③ リモコンユニット接続端子

リモコンユニットAT-DL3iR (別売) を接続します。

④ iPod/iPhone 接続端子

iPod/iPhone接続ケーブル(付属)を接続します。

⑤ 角形光デジタル入力端子

デジタル入力を行なう場合に使用します。接続は角形光デジタルケーブル(別売)を使用して、CDプレーヤー(デジタル出力搭載)などを接続します。

⑥ 同軸デジタル出力端子

デジタル出力を行なう場合に使用します。接続は同軸デジタルケーブル(別売)を使用してデジタルプロセッサ(デジタル入力搭載)などに接続します。

⑦ 角形光デジタル出力端子

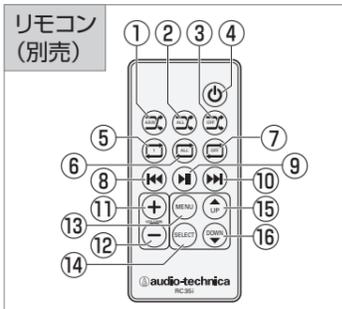
デジタル出力を行なう場合に使用します。接続は角形光デジタルケーブル(別売)を使用してデジタルプロセッサ(デジタル入力搭載)などに接続します。

⑧ 映像出力端子

映像の出力を行なう場合に使用します。接続は映像用ピンケーブル(別売)を使用してモニターなどに接続します。

⑨ サービス用端子

シールを剥がさないでください。故障の原因になります。また、シールを剥がした場合は保証対象外となりますので、ご注意ください。



① ダイレクトアルバムシャッフル再生*

iPod/iPhoneの中にある「アルバム」がシャッフルします。「アルバム」の中の曲は順番に再生します。

② ダイレクトオールシャッフル再生*

選択したリスト(たとえば「アルバム」や「プレイリスト」の中で曲をシャッフルします。)

③ シャッフルオフボタン*

「ダイレクトアルバムシャッフル再生」や「ダイレクトオールシャッフル再生」を解除します。

④ 電源ボタン

iPod/iPhoneの電源をONにします。再度押しすと、電源がOFFになります。
 ・ビデオ再生中に電源をOFFにすると、モニターは静止状態になります。

⑤ ダイレクト1曲リピートボタン*

選択した曲を繰り返し再生します。

⑥ ダイレクト全曲リピートボタン*

選択した、「プレイリスト」または「アルバム」内の全ての曲を、繰り返し再生します。

⑦ リピートオフボタン*

繰り返し再生を解除します。

⑧ 選曲ボタン (⏮)

前(または再生中)の曲の頭出しをします。押したままにすると、早戻しができます。

⑨ プレイ/ポーズボタン (⏸)

ボタンを押すと曲が再生されます。もう一度押しとポーズ状態になります。iPod/iPhoneの電源がOFFの場合、ボタンを押すと電源がONになり、曲を再生します。*

⑩ 選曲ボタン (⏭)

次の曲の頭出しをします。押したままにすると、早送りができます。

⑪ ボリュームボタン (+)

音量を大きくします。

⑫ ボリュームボタン (-)

音量を小さくします。

⑬ メニューボタン

選曲する画面になります。iPod/iPhoneのMENUボタンと同様の機能になっています。

⑭ SELECTボタン

決定するときに使用します。iPod/iPhoneのセンターボタンと同様の機能になっています。

⑮ アップボタン

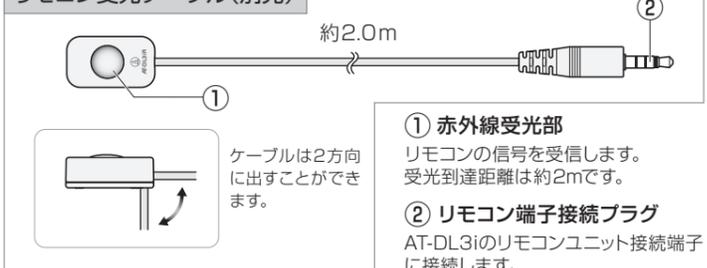
選択を上にかかすときに使用します。

⑯ ダウンボタン

選択を下にかかすときに使用します。

※接続するiPod/iPhoneの機種によっては記載の動作機能が対応していません。詳細は、別紙の「iPod/iPhone動作制限事項」をご確認ください。

リモコン受光ケーブル(別売)



① 赤外線受光部

リモコンの信号を受信します。受光到達距離は約2mです。

② リモコン端子接続プラグ

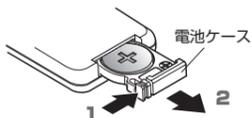
AT-DL3iのリモコンユニット接続端子に接続します。

リモコン(別売)の電池交換のしかた

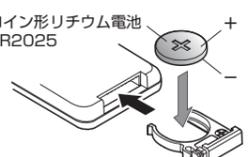
1. お買い上げ時はリモコンにはすでに動作確認用の電池が入っていますので、右図のように絶縁シートを抜いてください。



2. リモコンの反応が悪くなった場合や操作距離が短くなった場合は、電池の寿命です。新しい電池に交換をしてください。



3. 右図のように電池ケースを外して使用済みの電池を取り出します。



注意

- 電池を幼児の手の届く所に置かないでください。電池を飲み込んだ場合はすぐに医師の診察を受けてください。窒息の恐れがあります。
- リモコン受光ケーブルの赤外線受光部に直射日光が当たると操作ができなくなる場合があります。

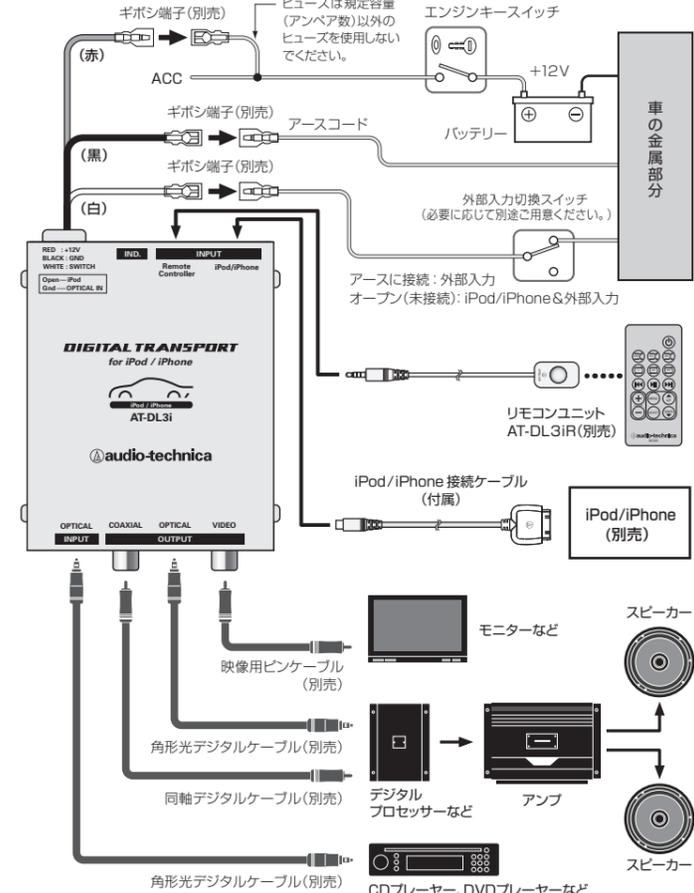
接続のしかた

※ご使用の際は、iPod/iPhoneや各入出力に接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。

※接続する際は、各入出力に接続する機器の音量を最小にしてから接続してください。

1. 接続する前に、必ずエンジンキーを抜き自動車のバッテリーコードを外します。コードはマイナス(-)を外し、次にプラス(+)のコードを外してください。
2. 本製品のアースコード(黒)を自動車の金属部分に接続します。
3. 外部入力機器を使用する場合 : 本製品の外部入力切換コード(白)を自動車の金属部分に接続します。
 iPod/iPhoneを使用する場合* : 本製品の外部入力切換コード(白)はオープン(未接続)にします。
 ※外部入力切換コード(白)がオープン(未接続)の場合、iPod/iPhoneが未接続の際には自動的に外部入力機器に切り換わります。
4. 本製品の電源コード(赤)をアクセサリ用電源ライン*(ON/ACC)に接続します。
 ※自動車のエンジンキーが「ON」、または「ACC」の位置になっているときだけ、12Vバッテリーが供給される線。
5. CDプレーヤー(デジタル出力搭載)などからの外部入力を使用する場合は、角形光デジタルケーブル(別売)で本製品の光デジタル入力端子とCDプレーヤー(デジタル出力搭載)などのデジタル出力端子を接続します。
6. 角形光デジタルケーブル(別売)または同軸デジタルケーブル(別売)で本製品のデジタル出力端子とデジタルプロセッサ(デジタル入力搭載)などのデジタル入力端子を接続します。光デジタル出力と同軸デジタル出力は同じデジタル信号出力されていますので、接続する機器の入力端子にあわせてご使用ください。
7. 映像出力を使用する場合は、映像用ピンケーブル(別売)で本製品の映像出力端子とモニターなどの映像入力端子を接続します。
8. 本製品のiPod/iPhone接続端子に、iPod/iPhone接続ケーブル(付属)を接続します。
9. リモコンユニットAT-DL3iR(別売)を使用する場合は、本製品のリモコンユニット接続端子にリモコン受光ケーブル(別売)を接続します。
10. 1で外したバッテリーのコードを接続します。接続する際は、プラス(+)コードを接続し、次にマイナス(-)コードを接続します。
11. 本製品を設置する前に、iPod/iPhone接続ケーブルにiPod/iPhoneを接続します。自動車のエンジンキーを「ON」、または「ACC」の位置にして、本製品に通電するとインジケータが点滅します。ゆっくり点滅から点灯に変わると接続完了です。

必ずインジケータの点滅や点灯確認を行なってから本製品を設置してください。設置してからの確認は難しくなります。



オーディオテクニカ製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。製品に万一異常が生じた場合は、お買い上げのお店、当社サービスセンターへご連絡ください。この保証書の規定により保証期間内に限り無料で修理させていただきます。修理の際にはこの保証書をご提示願いますので大切に保存してください。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために、大切に保管ください。なお、保証期間経過後も責任をもって修理いたしますが、その際は有料となりますのでご了承ください。本製品の基本性能を維持するために必要な部品(補修用性能部品)の最低保有年限は製造打切後6年です。

保証規定 (必ずお読みください)

以下の場合は保証期間内でも修理実費をいただき、故障の状況によっては修理できないこともあります。また修理の際オーディオテクニカの判断で製品交換をさせていただきますことがありますのでご了承ください。

- ① 本保証書が提示されない場合。
- ② 本保証書にご購入の日付・購入店名を記入捺印または、それに代わる保証開始時期を証明するもの(お買い上げレシートなど)がない場合。
- ③ お買い上げ後の落下・火災・盗難による損傷・変形。
- ④ 本保証書に記載の保証対象外の修理内容。
- ⑤ 本保証書に記載の保証対象外の修理内容。
- ⑥ 本保証書に記載の保証対象外の修理内容。
- ⑦ 本保証書に記載の保証対象外の修理内容。
- ⑧ 本保証書に記載の保証対象外の修理内容。
- ⑨ 本保証書に記載の保証対象外の修理内容。
- ⑩ 本保証書に記載の保証対象外の修理内容。
- ⑪ 本保証書に記載の保証対象外の修理内容。

● 消耗品(ヘッドランプ、ブレーキパッド、タイヤ、バッテリー、オイル、フィルター、ボデーなど)取納ケース類や、そのほか付属品。また、本製品や接続した機器に問わず、ソフトおよびデータなどは補償いたしませんのでご了承ください。

修理品の送料

● 保証の期間内、期間経過後を問わず、修理・検査のために製品を送付される場合は、お客様に送料をご負担いただきますのでご了承ください。製品は、輸送中の事故がないよう、梱包してください。

修理品の保証

● 修理後、同一個所に同一の故障が生じた場合は、保証期間を超えても修理完了日より3カ月以内に限り無料で修理いたします。

その他

- ① 本保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものではありません。従って、本保証書の記載内容によってお客様の法律上の権利が制限されるものではありません。
- ② 本保証書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- ③ 本保証書は再発行いたしませんので、紛失ならぬよう大切に保管してください。

転載不可